

《担当者名》阿部和夫（非）

【概要】

ドイツ語への理解とドイツの社会文化に関する知見を深めるためのドイツ語講座

【学修目標】

初級ドイツ語に続き、ドイツ語による読み・書き・会話の基礎的な力を身に付けることができる。さらに、ドイツの社会や文化についての知識を増やしながら、環境問題、戦争と平和、欧州連合といった時事的なものまで多岐にわたるテーマを理解していくことで、ドイツ語だけではなく、ドイツ事情や社会問題についての理解を深めることが可能となる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|----------------------|--|------|
| 1 | 発音の復習と聞きとり | ・ドイツ語独特の発音をマスターする ・ドイツ人へのインタビューを聞き取る | 阿部和夫 |
| 2 | 様々な動詞 | ・これまでに学んだ動詞と新たな不規則変化動詞を使いこなす ・グリム童話の世界 | 阿部和夫 |
| 3 | 非人称のes | ・自然現象や心理現象を表現することができる ・esを使った慣用表現を用いることができる | 阿部和夫 |
| 4 | 前置詞とその格変化 | ・前置詞の格支配の仕組みを理解する ・ドイツの街並みと旅行について | 阿部和夫 |
| 5 | 前置詞（つづき） これまでのまとめ | ・注意すべき前置詞の用法 ・項目ごとの理解度をチェックし、次の段階へ進む | 阿部和夫 |
| 6 | 枠構造 | ・ドイツ語の基本構造は枠であることを理解する ・様々な枠構造について | 阿部和夫 |
| 7 | 話法の助動詞その1 | ・英語にそっくりな一連の助動詞たち ・ユーロと欧州連合について | 阿部和夫 |
| 8 | 話法の助動詞その2 | ・英語との共通点と相違点 ・助動詞を用いた言い回しが可能になる | 阿部和夫 |
| 9 | 分離動詞 | ・二つに分かれてしまう動詞 ・アルツハイマーについて | 阿部和夫 |
| 10 | 分離動詞と非分離動詞 | ・二つに分かれない動詞 ・時刻表現が使用可能になる | 阿部和夫 |
| 11 | 命令形 | ・3種類の命令形を使うことができる | 阿部和夫 |
| 12 | これまでのまとめ 総合的な問題練習 | ・項目ごとの理解度をチェックすることにより、次の段階へ進むことができる | 阿部和夫 |
| 13 | 動詞の3基本形 | ・不定詞 - 過去基本形 - 過去分詞の3基本形について | 阿部和夫 |
| 14 | 現在完了 | ・日常会話で専ら用いられる現在完了を使うことができる ・ドイツ映画事情、テレビ事情について | 阿部和夫 |
| 15 | 総括と復習 | ・「ドイツ語とはどんな言葉なのか」総括する | 阿部和夫 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末試験 70～80% 授業参加態度と小テストなどの平常点 20～30%

【教科書】

「イン・ドイチュラント（in Deutschland）」秋田静男他著 朝日出版社 2016年

【参考書】

独和辞典（種類は問わない）

【学修の準備】

- ・ 予習として：教科書付属CDの次回の授業範囲部分を聞き、あらかじめ耳を慣らしておくこと。(20分)
- ・ 復習として：教科書付属問題集の中から、前回の授業内容にかかわる問題を解くこと。(20分)

【ディプロマポリシーとの関連性】

- (DP1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。
- (DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に興味を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。
- (DP5) 多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。